

平成 30 年度通訳翻訳研究所活動報告

No.	活動内容	開催日	開催場所	参加者数
1	通訳翻訳研究所定例講演会第四回 国際報道と語学力 ー通訳・翻訳の意義と効用ー	06 月 27 日(水)	学術文化交流センター 小ホール	91 名
2	通訳翻訳研究所定例講演会第五回 医療の発展と患者さんに貢献する医療翻訳	11 月 20 日(火)	学術文化交流センター 小ホール	54 名
3	通訳翻訳研究所定例講演会第六回 《翻訳》を究めるための 文体論(Stylistics)の視点と英語の理解	01 月 30 日(水)	学術文化交流センター 小ホール	68 名
4	通訳翻訳研究所ゼミナール 「通訳翻訳講座 ーELF 時代の通訳翻訳に役立つ言語知識ー」 (全 10 回)	02 月 08 日(金) ～ 03 月 08 日(金)	サテライトキャンパス	15 名

1. 公開講演会の開催

通訳翻訳研究所定例講演会第四回 国際報道と語学力 —通訳・翻訳の意義と効用—

日時： 平成 30 年 6 月 27 日 (水) 12:30～14:30

場所： 学術文化交流センター2F 小ホール

講師： 名越 健郎（拓殖大学海外事情研究所教授／国際教養大学特任教授）
（元時事通信社記者：バンコク、ワシントン、モスクワ支局員、外信部長、
編集局次長、仙台支社長を歴任）

司会： 袖川 裕美（副所長）

参加者数： 91 名

概要： 日本において、江戸時代の瓦版に端を発するメディアは、時代の流れと共にその主流を新聞・雑誌・ラジオ・テレビ・ネットへと変容させ、今後どうなっていくのかは読みづらい。しかしながら、世界で 2、3 番目に古い職業であるといわれる記者という職業は、これからの世の中でも絶対に必要であり、「ニュースを分析し、原稿にする」という、正確な報道を行うための基本動作は今後も変わらない。

国際報道の記者をするにあたって必要な能力とは、キーワードの掌握力、地元紙・報告書などの速読力、会見やインタビューでの質問力などであり、語学力の高さだけが必ずしも記者としての能力の高さに直結するとは限らない。例えば、“Iraqi government forces backed by Sunni tribal militias”という海外通信社の記事を、日本の某新聞社が「スンニ派武装勢力に後退させられたイラク政府軍」と訳して新聞に掲載し、翌日「スンニ派部族民兵の支援を受けたイラク政府軍」に訂正した事例があるが、これは前もって情勢を把握していれば起こり得なかった誤訳である。また、グローバル化が進み、講師の現役時代に比べれば確実に記者たちの語学力が向上しているはずであるにも関わらず、2018年6月12日の米朝首脳会談後の記者会見において、日本人の記者からは、拉致問題についての質問は一つも上がらなかった。

とはいえ、英語至上主義の今日において、英語が使えるということは間違いなく強みとなる。これからは、英語はできて当たり前の時代になる。できればもう一言語を習得することを学生諸君には強く勧めたい。



通訳翻訳研究所定例講演会第五回 医療の発展と患者さんに貢献する医療翻訳

日時： 平成 30 年 11 月 20 日 (火) 12:15～14:15

場所： 学術文化交流センター2F 小ホール

講師： 野中 希 (一般社団法人 日本癌医療翻訳アソシエイツ JAMT 副理事長)

司会： 大森 裕實 (研究所長)

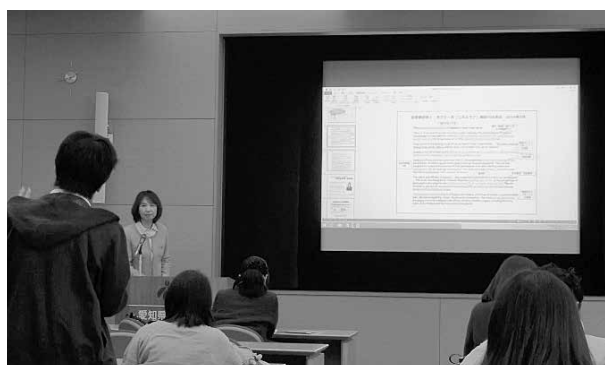
参加者数： 54 名

概要： 今日の日では、二人に一人が生涯のうちに癌を経験し、三人に一人が癌によって死亡する。分子標的薬や免疫療法が出現するなど、癌医療は日進月歩して、治療の選択肢は日に日に多くなり、従来は医師により一方的に行われていた治療方針の決定は、患者(あるいは家族)と医師の双方の対話により成されるようになりつつある。この対話による治療決定をよりよく進めるためには、患者も医師も同じように専門的な情報を共有すべきだが、信頼できる専門的な情報は、ほとんどが英語で記されており、日本の一般市民にとっては、容易に情報を得られる環境にあるとは言い難い。

このことを問題視し、日本癌医療翻訳アソシエイツは、癌医療先進国である米国の国立機関が発表した記事を中心に、日本の一般市民向けに翻訳を行い、ウェブサイトにおいて無料で公開している。公開される記事は全て、医師の監修を受けている。

現在の医療にとって英語は非常に重要であり、医療翻訳が関係する仕事には製薬企業やメディカルライターなど様々なものがある。医療翻訳が対象とする文章は、専門用語にさえ注意すれば簡単なもので、求められる技量はむしろスピード・正確性・日本語力である。

日本癌医療翻訳アソシエイツでは、アドボケート(患者支援)として、患者の国際学会参加のサポートも行っている。癌医療とは、全世界が一丸となって取り組むべき課題であり、やはり、英語が極めて重要な地位を占めていると言える。



通訳翻訳研究所定例講演会第六回

《翻訳》を究めるための文体論(Stylistics)の視点と英語の理解

日時： 平成 31 年 1 月 30 日(水)13:00～15:00

場所： 学術文化交流センター2F 小ホール

講師： 今林 修 (広島大学大学院文学研究科欧米文学語学・言語学講座教授)

司会： 大森 裕實 (研究所長)

参加者数： 68 名

概要： 文体論の視点からより良い翻訳を考える時に大切なことは、「テキストの中で何が起きているのか」に気づき、それをいかに翻訳に持ち込むかということである。具体的には、英文特有の韻律の踏み方や、文末焦点などの特性をよく理解し、物語が描かれた当時の言語や時代背景などを細部に至るまで調査することによって、物語の舞台や主人公の感情に対する理解を深めることができ、ひいては翻訳に活用することができるということである。

例えば、ビアトリクス・ポターの『ピーターラビットのおはなし』を採り上げると、次のような指摘ができる。農場で人間に見つからないように野菜を食べていたピーターが、農場主が近くにいることに気づいて慌てふためく場面において、それを描写した段落の最後の一文は“His(=農場主) back was turned towards Peter, and beyond him was the gate!”となっているが、英文の文末焦点の特性から、“the gate”への到達がいかに困難か、その事実がピーターの心理状況にどのような影響をもたらしたかを推察することができる。また、エリック・カールの『はらぺこあおむし』の邦訳版(もりひさし訳)では、青虫の卵を見守る「おつきさま」の挿絵を活かすことによって、原文表現にない箇所の内容が伝わりやすい翻訳版を完成させた。読者が物語に入りやすくなるように、原作者の意図を汲み取りながら意匠を凝らした翻訳の好例である。

このように、文体に気づくこと、様々な知識を総動員してそれを活用することが非常に重要だが、あまり新手ばかり使わず、時には先人の「まねをする」ことも、より良い翻訳をする上で心がけるべき要点となる。



2. 研究所ゼミナールの開催

通訳翻訳研究所ゼミナール

「通訳翻訳講座－ELF時代の通訳翻訳に役立つ言語知識－」

開講日時：平成31年2月8/15/22日、3月1/8日（5日間全10回）

会場： 愛知県立大学 サテライトキャンパス

講師： 長峯 貴幸（UCL MA／本学非常勤講師）

今井 隆夫（Ph.D.／本学非常勤講師）

受講者数：15名

講座内容：① 多様な英語音声の perception と ELF 時代の通訳（長峯）

- ・ ELF 時代の英語音声とは？
- ・ “訛り”を取り巻く複雑な事情とは？－社会言語学の見地から
- ・ ELF 時代の訛りの知覚
- ・ ELF 時代の通訳：聞き手に理解されやすい発音とは？

② 認知言語学と翻訳の新たな視点（今井）

- ・ 認知言語学から言語コミュニケーションを考える
- ・ 認知言語学から言語表現を考える
- ・ 日英語の日常表現における比喻
- ・ 認知言語学から翻訳を考える



「通訳翻訳研究所」定例講演会第四回
国際報道と語学力
—通訳・翻訳の意義と効用—

愛知県立大学は平成 28 年 4 月に国公立大学においては稀有な「通訳翻訳研究所」を開設し、無事三年目を迎えることができました。本年度最初の定例講演会として、元時事通信社記者で現在は拓殖大学海外事情研究所教授にして国際教養大学特任教授も務められる名越健郎氏を講師にお迎えし、本学学生にとって関心度の高い「国際報道と語学力の問題」についてお話を伺う運びとなりました。指定対象学生の他にも定員(80名)までは参加可能です。興味があれば、ぜひご参加ください。

平成 30 年 6 月 5 日 研究所長 大森 裕實

【講演要旨】

外国に勤務する記者にとって、現地語の習得は不可欠だが、日本人にとって苦手なものが外国語である。近年は帰国学生や留学経験者が増えて外国語に通じているにもかかわらず、新聞やテレビで特ダネは減ってきている。ネット時代、スマホ時代で、国際報道の形態が大きく変わってきたこともその一因として看過できない事実である。最近の外国メディアの報道の変化も紹介しながら、国際報道で語学力がどのような意味を持つのかを検討する。

日時 平成 30 年 6 月 27 日 (水) 12:30~14:30
(講義 90 分+Q&A's / Free Talk 30 分)

会場 愛知県立大学 学術文化交流センター (2F 小ホール)



内容 [講演会] “国際報道と語学力—通訳・翻訳の意義と効用—”

講師 名越 健郎 (拓殖大学海外事情研究所教授/国際教養大学特任教授)
(元時事通信社記者: バンコク、ワシントン、モスクワ支局員、
外信部長、編集局次長、仙台支社長を歴任)
司会 袖川 裕美 (本学准教授)

対象 外国語学部 EIC コース履修生/外国語学部通訳技法・翻訳技法履修生/
大学院国際文化研究科英語高度専門職業人コース履修生
※その他ご興味のある方はご自由にご参加ください

参加 参加費無料, 事前予約不要 (定員 80 名)
※プログラム詳細については、愛知県立大学 HP ポータルサイト
<http://www.aichi-pu.ac.jp> から本研究所ウェブでご確認ください



主催 愛知県立大学 通訳翻訳研究所

お問合せは E-mail で通訳翻訳研究所 (IITsince2016@for.aichi-pu.ac.jp) まで
TEL: 0561-76-8824 (学務課 [研究所担当] 阿部)
FAX: 0561-64-1107 (文系教員センター共用)

通訳翻訳研究所

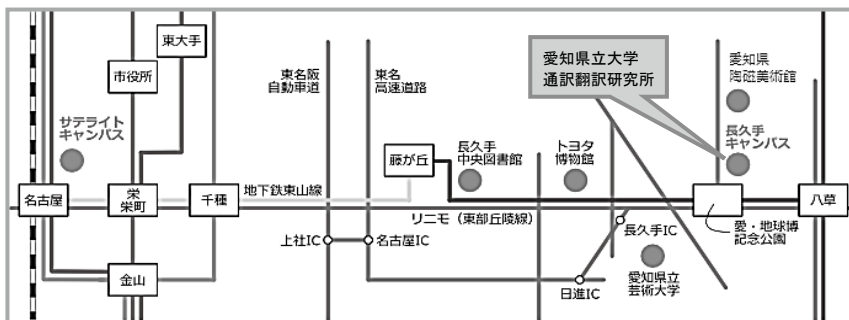
<定例講演会第四回>

日時 平成 30 年 6 月 27 日 (水) 12:30～14:30

場所 愛知県立大学 (長久手キャンパス)
学術文化交流センター2階 小ホール

内容 国際報道と語学力
—通訳・翻訳の意義と効用—
名越 健郎 拓殖大学海外事情研究所 教授
国際教養大学 特任教授

参加申込 参加費無料, 事前予約不要
※プログラム詳細については, 愛知県立大学 HP ポータルサイト
<http://www.aichi-pu.ac.jp> から本研究所ウェブでご確認ください



主催 愛知県立大学 通訳翻訳研究所



問合せ先 愛知県立大学 通訳翻訳研究所
(IITsince2016@for.aichi-pu.ac.jp)

「通訳翻訳研究所」定例講演会第五回 医療の発展と患者さんに貢献する医療翻訳

愛知県立大学は平成 28 年 4 月に国公立大学においては稀有な「通訳翻訳研究所」を開設し、順調に活動三年目を迎えました。これも学内外の皆さまのご協力あればこそと、衷心より感謝申し上げます。さて、本年度の定例講演会の第二弾として、「海外がん医療情報リファレンス」ボランティア翻訳サイトを運営する「日本癌医療翻訳アソシエイツ」副理事長の野中希さんを講師にお招きし、最近注目を集める“がん診療に関わる医療翻訳”の必要性とその実態についてお話を伺える運びとなりました。指定対象学生以外にも定員(80名)までは参加可能です。興味があれば、ぜひご来聴ください。

平成 30 年 11 月 5 日 研究所長 大森裕實

【講演要旨】

がんを患った家族を介護した経験から、日本における情報不足を痛感し、2004 年に「海外がん医療情報リファレンス」ボランティア翻訳サイトを開設した。この十年余りで、日本で承認される治療薬や情報も増え、がん診療は目覚ましい変化を遂げているが、その裏では医療翻訳が重要なカギを握る。例えば、現代医療における薬や治療のための医学研究や論文は世界中にオンラインで一般公開されており、その共通言語はすべて《英語》である。また、国際共同研究の実施も医療翻訳なくしては考えられない。現代における医療翻訳の必要性および最新医学を知る面白さをお伝えしたい。

日時 平成 30 年 11 月 20 日 (火) 12:15~14:15
(講義 90 分+Q&A's / Free Talk 30 分)

会場 愛知県立大学 学術文化交流センター (2F 小ホール)



内容 [医療翻訳講演会] “医療の発展と患者さんに貢献する医療翻訳”

講師 野中 希 (一般社団法人 日本癌医療翻訳アソシエイツ JAMT
副理事長)

司会 大森裕實 (研究所長/本学教授)

対象 外国語学部 EIC コース履修生/外国語学部通訳技法・翻訳技法履修生/
大学院国際文化研究科英語高度専門職業人コース履修生
※その他ご興味のある方はご自由にご参加ください

**参加
申込** 参加費無料、事前予約不要 (定員 80 名)
※プログラム詳細については、愛知県立大学 HP ポータルサイト
<http://www.aichi-pu.ac.jp> から本研究所ウェブでご確認ください



主催 愛知県立大学 通訳翻訳研究所

お問合せは E-mail で通訳翻訳研究所 (IITsince2016@for.aichi-pu.ac.jp) まで
TEL: 0561-76-8824 (学務課 [研究所担当] 阿部)
FAX: 0561-64-1107 (文系教員センター共用)

通訳翻訳研究所

〈定例講演会第五回〉

日時 平成 30 年 11 月 20 日 (火) 12:15~14:15

会場 愛知県立大学 (長久手キャンパス)
学術文化交流センター2階 小ホール

内容 医療翻訳活動に関する講演

“医療の発展と患者さんに貢献する医療翻訳”

野中 希

日本癌医療翻訳アソシエイツ (JAMT) 副理事長

**参加
申込**

参加費無料, 事前予約不要

※プログラム詳細については、愛知県立大学 HP ポータルサイト

<http://www.aichi-pu.ac.jp> から本研究所ウェブでご確認ください



主催 愛知県立大学 通訳翻訳研究所

問合せ先

通訳翻訳研究所 (IITsince2016@for.aichi-pu.ac.jp)

「通訳翻訳研究所」定例講演会第六回
《翻訳》を究めるための
文体論 (Stylistics)の視点と英語の理解

愛知県立大学は平成 28 年 4 月に国公立大学においては稀有な「通訳翻訳研究所」を開設し、順調に活動三年目を迎えました。これも学内外の皆さまのご協力あればこそと、衷心より感謝申し上げます。さて、本年度の定例講演会第三弾として、文体論研究の第一人者として名高い今林修教授(広島大学大学院文学研究科)を講師にお招きし、文学研究の一環としての固定観念から脱して、英語教育との関連(応用言語学)においても注目を集める文体論 (Stylistics)のアプローチによる英語理解についてお話を伺える運びとなりました。指定対象学生の他にも定員(80名)までは参加可能です(一般公開)。興味があれば、ぜひご来聴ください。

平成 31 年 1 月 5 日 研究所長 大森裕實

【講演要旨】

私たち日本人の多くは英語を母語としないからこそ、《翻訳》という知的な作業を通して英語を楽しむことができるのではなかろうか。《翻訳》することと英語を深く理解し味わうこととの間には、一体どのような関係があるのだろうか。この間に、文体論による新たな切り口を見つけ出すことができればと考えている。

日時 平成 31 年 1 月 30 日 (水) 13:00~15:00
(講義 100 分+Q&A's / Free Talk 20 分)

会場 愛知県立大学 学術文化交流センター (2F 小ホール)



内容 講演 —— “《翻訳》を究めるための文体論(Stylistics)の視点と英語の理解”

講師 今林 修 (広島大学大学院文学研究科欧米文学語学・言語学講座 教授)
※編著『英語のスタイル—教えるための文体論入門』(2017) は好評

司会 大森裕實 (研究所長/本学教授)

対象 外国語学部 EIC コース履修生/外国語学部通訳技法・翻訳技法履修生/
大学院国際文化研究科英語高度専門職業人コース履修生
※その他ご興味のある方はご自由にご参加ください(一般公開)

参加 参加費無料, 事前予約不要 (定員 80 名)
申込 ※プログラム詳細については、愛知県立大学 HP ポータルサイト
<http://www.aichi-pu.ac.jp> から本研究所ウェブでご確認ください



主催 愛知県立大学 通訳翻訳研究所

お問合せは E-mail で通訳翻訳研究所 (IITsince2016@for.aichi-pu.ac.jp) まで
TEL: 0561-76-8824 (学務課 [研究所担当] 阿部)
FAX: 0561-64-1107 (文系教員センター共用)

通訳翻訳研究所 〈定例講演会第六回〉

日時

平成31年1月30日(水) 13:00~15:00

場所

愛知県立大学(長久手キャンパス)
学術文化交流センター 2階 小ホール

内容

《翻訳》を究めるための
文体論 (Stylistics) の視点と英語の理解
今林 修 (広島大学大学院 教授)

参加
申込

参加費不要, 事前予約不要

※プログラム詳細については,
愛知県立大学HPポータルサイト <http://www.aichi-pu.ac.jp> から
本研究所ウェブでご確認ください



主催 愛知県立大学 通訳翻訳研究所



問合せ先 通訳翻訳研究所 (IITsince2016@for.aichi-pu.ac.jp)

通訳翻訳研究所ゼミナール
「通訳翻訳講座」
—ELF時代の通訳翻訳に役立つ言語知識—
ご案内

冠省 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、愛知県立大学は平成28年4月に「通訳翻訳研究所」を開いたしましたが、本研究所が掲げた主たる事業計画第一項目に明記された「講座」(日英語翻訳講座(理論と実践))を一昨年度初めて公開方式で実施し、成功裡に終えることができました。

さて、本年度は少し趣を変えて、ELF(国際英語)時代の通訳翻訳を支える言語知識を涵養する二本立ての講義——①多様な英語音声の perception と ELF時代の通訳(長峯);②認知言語学と翻訳の新たな視点(今井)を企画しました。

現在職に就いている卒業生や一般社会人の皆さまの便を考慮して、本年度も金曜日の夜間に名古屋駅近くに在るサテライトキャンパスにおいて開催します。この機会に是非ご参加いただければ幸いです。

平成30年12月10日 研究所長 大森裕實

開催日時
第1回 平成31年2月8日(金) 午後6時00分～午後7時30分
第2回 平成31年2月8日(金) 午後7時30分～午後9時00分
毎週金曜日2回連続開講 (@90分) 2/15, 2/22, 3/1, 3/8 [全10回]



講座会場 愛知県立大学(サテライトキャンパス)
〒450-0002 名古屋市中村区駅4丁目4-38
愛知県産業労働センター「ウインクあいち」15階

講座講師
① 長峯貴幸(UCL MA)
② 今井隆夫(Ph.D.)
(紹介) 長峯貴幸氏は音声学の本場 University College London で修士課程を修めた新進気鋭の音声学研究者であり、愛知教育大学における教員研修の経験も豊富。
今井隆夫氏は認知言語学の知見を英語教育の現場に応用することに関心が高く、『イメージで捉える感覚英文法』(開拓社, 2010) はわかりやすいと好評。

募集定員 最大30名(最少催行人数6名)

参加申込 事前申込み必要(E-mail でお願ひします) 締切: 1月28日(月)

受講料 全10回分(@2,000円×10=20,000円)を一括して納めること
※詳細については、愛知県立大学 HP <http://www.aichi-pu.ac.jp> でご確認ください。



主催 愛知県立大学 通訳翻訳研究所

お問合せは E-mail で通訳翻訳研究所 (IITsince2016@for.aichi-pu.ac.jp) まで
TEL: 0561-76-8824 (学務課 [研究所担当] 阿部)
FAX: 0561-64-1107 (文系教員センター共用)

通訳翻訳研究所

<通訳翻訳講座>

—ELF時代の通訳翻訳に役立つ言語知識—

日時 平成31年2月8日(金)～3月8日(金)

第1回 午後6時00分～午後7時30分

第2回 午後7時30分～午後9時00分

毎週金曜日2回連続開講(@90分)[全10回]

場所 愛知県立大学(サテライトキャンパス)

愛知県産業労働センター《ウインクあいち》15階

内容

多様な英語音声のperceptionとELF時代の通訳

長峯貴幸 (UCL MA)

認知言語学と翻訳の新たな視点

今井隆夫 (Ph.D.)

**参加
申込**

事前予約必要

※プログラム詳細については、

愛知県立大学HPポータルサイト<http://www.aichi-pu.ac.jp>から

本研究所ウェブでご確認ください



主催 愛知県立大学 通訳翻訳研究所



問合せ先 通訳翻訳研究所 (IITsince2016@for.aichi-pu.ac.jp)

3. 平成30年度通訳翻訳研究所購入所蔵図書一覧(2018)

カテゴリー	著者名	出版年	書名	出版社
通訳翻訳研究	Cook, Guy.	2010	Translation in Language Tesching An Argumant for Reassessment	Oxford University Press
	ガイ・クック(著), 斎藤 兆史・北 和文(共訳)	2012	英語教育と「訳」の効用	研究社
	Toyota, Masanori(編)	2018	Stylistics volume I SAGE Benchmarks in Language and Linguistics	SAGE Publications Pvt. Ltd
	Toyota, Masanori(編)	2018	Stylistics volume II SAGE Benchmarks in Language and Linguistics	SAGE Publications Pvt. Ltd
	Toyota, Masanori(編)	2018	Stylistics volume III SAGE Benchmarks in Language and Linguistics	SAGE Publications Pvt. Ltd
	Toyota, Masanori(編)	2018	Stylistics volume IV SAGE Benchmarks in Language and Linguistics	SAGE Publications Pvt. Ltd
	Toyota, Masanori(編)	2018	Stylistics volume V SAGE Benchmarks in Language and Linguistics	SAGE Publications Pvt. Ltd
	Toyota, Masanori(編)	2018	Stylistics volume VI SAGE Benchmarks in Language and Linguistics	SAGE Publications Pvt. Ltd
	Tsagari, Dina. & Deemter, Roelof van(共編)	2013	Assessment Issues in Language Translation and Interpreting	Peter Lamg Edition
	Tsagari, Dina. & Floros, Georgios.(共編)	2013	Translation in Language Tesching And Assessment	Cambridge Scholars Publishing
	越前 敏弥	2011	越前敏弥の日本人なら必ず悪訳する英文	ディスカヴァー・トゥエンティワン
	越前 敏弥	2016	翻訳百景	角川書店
	越前 敏弥	2018	文芸翻訳教室	研究社
	篠原 有子	2018	映画字幕の翻訳学 日本映画と英語字幕	晃洋書房
	杉本 つとむ	1976	江戸時代蘭語学の成立とその展開	早稲田大学出版部
	杉本 つとむ	1990	長崎通詞—ことばと文化の翻訳者	創拓社
	野崎 欽	2014	翻訳教育	河出書房新社
野崎 欽	2016	夢の共有	岩波書店	
『通訳・翻訳ジャーナル』特別編集	2016	新版 医学・薬学の翻訳・通訳完全ガイドブック	イカロス出版	
『通訳・翻訳ジャーナル』特別編集	2018	メディカル翻訳・通訳完全ガイドブック	イカロス出版	
言語運用編	Cook, Guy.	2001	The Discourse of Advertising second ed.	Routledge
	Crystal, David.	2010	Begat:The King James Bible & English Language	Oxford University Press
	デイヴィッド・クリスタル(著), 橋本 功・八木橋 宏勇(共訳)	2012	聖書起源のイデオロム42章	慶應義塾大学出版会
	岡田 昭人	2017	オックスフォードの英語	秀和システム
	土屋 晴仁・佐藤 和枝(共著)	2017	英語で読む羽生結弦	IBCパブリッシング
	内藤 由美子	2018	最強の英語力	新星出版社
	平野 次郎(解説執筆), 鈴木 健士(翻訳)	2017	英語で聴く 世界を変えた感動の名スピーチ	角川書店
The Modern Language Association(著), 長尾和夫(監訳), フォースター・紀子・トーマス・マーティン(共訳)	2017	MLAハンドブック	秀和システム	
言語知識編	Crystal, David.	2018	The Cambridge Encyclopedia of the English Language Third Edition	Cambridge University Press
	Nakagawa, Ken, Jimura, Akiyuki, and Imahayashi Osamu(ed)	2016	LANGUAGE AND STYLE IN ENGLISH LITERATURE	KEISUISHA
	萱原 雅弘・佐々木 隆一(共著)	1999	大学生のための現代英文法	開拓社
	山岡 洋	2014	山岡 洋	開拓社
資料	大橋 由香子	2002	同時通訳者 鳥飼玖美子	理論社
	木村 正俊・松村 賢一(共編)	2017	ケルト文化事典	東京堂出版
	スタンリー・ウェルズほか(著), 河合 祥一郎	2016	シェイクスピア大図鑑	三省堂
	武市 一成	2015	松本亨と「英語で考える」	彩流社
	デイヴィット・スチュアート・デイヴィーズほか(著), 日暮 雅通(訳)	2016	シャーロック・ホームズ大図鑑	三省堂
	夏目 漱石(著), 近藤 いね子(訳)	2018	KOKORO	国書刊行会
辞書	亀井 孝・河野 六郎・千野 栄一(共編)	2011	言語学大辞典 第6巻 術語編	三省堂
	河野 六郎・千野 栄一・西田 龍雄(共編)	2001	言語学大辞典 別巻 世界文字辞典	三省堂
	亀井 孝・河野 六郎・千野 栄一(編著)	1998	言語学大辞典セレクション ヨーロッパの言語	三省堂
	牧野 成一・岡 まゆみ(共著)	2017	日英共通メタファー辞典	くろしお出版
	松本 道弘	2018	難訳・和英「語感」辞典	さくら舎
	松本 道弘	2017	難訳・和英「口語」辞典	さくら舎

平成30年度 通訳翻訳研究所購入所蔵図書

(冊)

通訳翻訳研究	20
言語運用編	8
言語知識編	4
資料	6
辞書	6
計	44